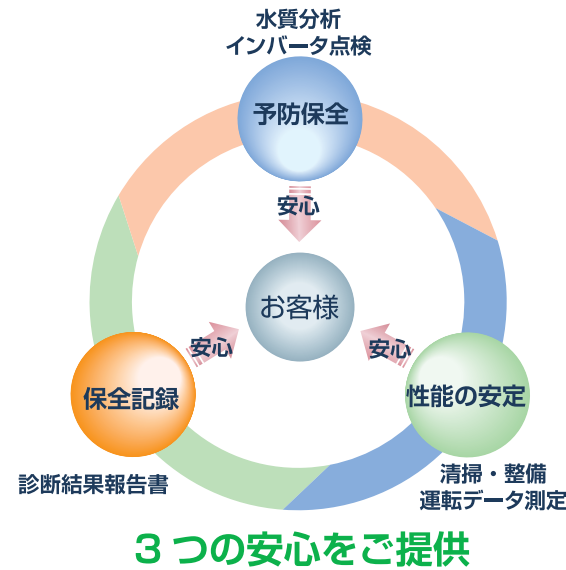


感動を呼ぶ製品をめざして

ORION

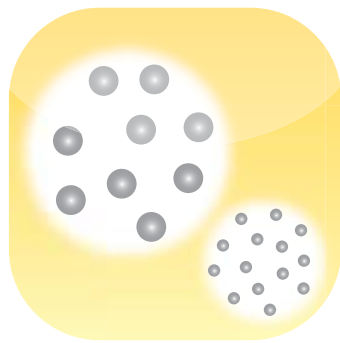
プレジジョンエアプロセッサー
オリオンPAP-R
有料定期点検のご紹介

■ 定期点検による安心をお客様へ

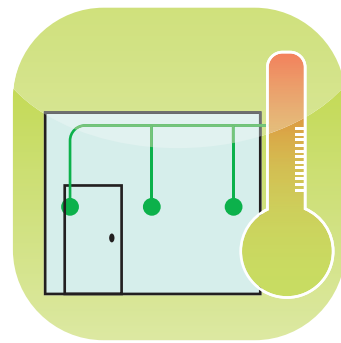


プレジジョンエアプロセッサーは産業用空調システムとして使用されています。
そのプレジジョンエアプロセッサーが偶発的に故障する確率は”ゼロ”ではありません。
期待する運転を維持するためには、定期的な点検・整備と部品の交換が不可欠です。
当社認定技術者が、細部にわたり重要ポイントを点検・整備・調整することで、不具合の早期発見、早期対応が可能となり、偶発的な故障による生産ライン停止を未然に防ぎ、また無駄なランニングコストの発生を抑えます。
お客様に未長く、安心してプレジジョンエアプロセッサーをお使いいただくため、オリオンプレジジョンエアプロセッサー有料定期点検をぜひご利用ください。

■ さらにオプション点検項目をご用意しております



クリーン清浄度測定



クリーンルーム内
温度分布測定

詳しくは下記へご連絡ください。

ご用命は下記へー



http://www.orionkikai.co.jp

サービスに関するお問い合わせ・資料請求は

CSセンター TEL 026-245-1263 FAX 026-245-5358
〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
E-mail: sijo@orionkikai.co.jp

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
更 埴 工 場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291
千 歳 工 場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16



プレジジョンエアプロセッサー

PAP-R シリーズ

定期点検

定期点検のメリット

ランニングコスト低減

定期的な清掃・整備でランニングコストの低減につながります
凝縮器・水回路の定期的な清掃・整備は汚れによる能力低下、消費電力の増加を抑えます。
汚れは冷媒圧力を上昇させ、冷却能力を低下させます。

故障・運転停止による損失の抑制

計測器を使用し運転データから性能解析・故障予測をします
部品個々の性能チェックと運転データを解析し、次回の点検時に必要な予算をお見積り等反映し報告いたします。(消耗部品・保全周期により交換を要する主要部品等を含み報告)
また、緊急を要する場合(点検時に不具合の発見等)は当社認定技術者が修復し、プレジジョンエアプロセッサーの安定運転を維持させることで、偶発故障の発生、設備停止の損失を最小限に抑制します。 ※製品保証適用除外項目に起因する故障については保証対象外といたします。

保守記録の保管

経験豊富な専任の当社認定技術者が点検し、点検作業報告書を提出します
点検結果および不具合箇所等のデータを報告書として提出いたしますので、保守記録の管理ができます。

定期保証

点検実施後の一定期間は、修理作業費(サービスマン移動費等含む)が無償※
※一般点検: 1ヵ月保証(部品代は別途申し受けます)
※製品保証適用除外項目に起因する故障、使用環境(腐食性雰囲気)に起因するガス漏れは保証対象外とします。

有料定期点検

点検推奨時間
8000時間又は1年

作業時間の目安 3時間～5時間

※対象機種は PAP-R(プレジジョンエアプロセッサ R型) に限ります。

STEP1
予防保全

STEP2
性能の安定

STEP3
保全記録

STEP1 予防保全 … 清掃・整備



①設置状況の確認



②熱交換器の清掃



③加湿機の確認

STEP2 - ① 性能の安定 … 各部点検



①絶縁抵抗測定



②インバータ静電容量測定



③ガス漏れ調査



④電流値測定



⑤冷媒圧力測定



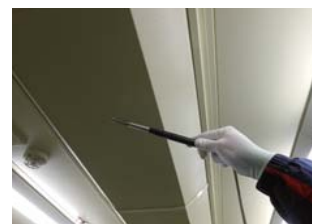
⑥冷媒配管温度測定



⑦モータ類の異常音確認



⑧ヒータ、フロート動作確認



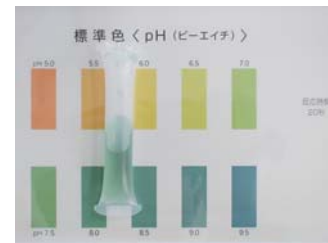
⑨風速・温度・湿度測定

STEP2 - ② 水質検査

水質によるトラブル回避を提案します。



導電率測定



簡易水質測定 ※

- ※簡易水質キット7種測定内容
- ・ pH 測定
 - ・ カルシウム (Ca)
 - ・ 塩化物 (Cl)
 - ・ 化学的酸素消費量 (COD)
 - ・ シリカ (SiO₂)
 - ・ 全硬度 (TH)
 - ・ 鉄 (Fe)

STEP3 保全記録 … 運転診断・水質検査結果の報告



点検作業報告書



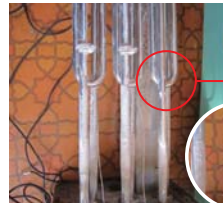


水質検査報告

点検作業報告書を提出致しますので、保全記録として管理できます。



メンテナンスは結構面倒。
実施していないとこんな状況に…。

	加湿タンク内部にスケールが付着	フロートスイッチにスケールが付着	加湿用ヒータにスケールが付着
症状	 写真：加湿タンク内に付着したスケール	 写真右：フロートスイッチに付着したスケール	 写真：加湿用ヒータに付着したスケール
想定される不具合①	加湿機へ水を供給する管径がスケールにより減少 ↓ 管径の減少で加湿機へ供給する水量が減少 ↓ 湿度制御が不安定に	フロートがスケールにより動作不良に ↓ フロートスイッチが誤動作 ↓ 給水しっぱなしで漏水	加湿水を加熱する速度がスケールにより鈍化 ↓ 湿度制御の指示が出ても加湿に時間がかかる ↓ 湿度制御が不安定に
想定される不具合②	タンク内のドレン配管の管径がスケールにより減少 ↓ タンクからの排水量が低下 ↓ タンク内の水抜きに時間がかかる (最悪は排水不良に)	フロートがスケールにより動作不良に ↓ フロートスイッチが作動せず湯水 ↓ ヒータの空炊きで過昇防止作動 (最悪は火災事故に)	スケールによりヒータに腐食が発生 ↓ 腐食が金属部を浸食し腐食孔が開く ↓ 腐食孔から水が侵入し漏水発生

※本機で使用できる加湿水は純水(電気伝導率1~10μS/cm)です。指定以外の水を使用しますと短時間でスケールが付着し、故障の原因になります。

面倒なメンテナンスですが、思っている以上に大事。定期的に行うことがトラブル回避につながります。